

## 阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会

### 令和 8 年度 第 1 回 通所介護・通所リハ・訪問リハ部会

- 開催日時：令和 8 年 9 月 15 日 13:30～
- 参加者：
  - － デイサービスセンター（部会代表者）
  - － 青彩会デイサービスセンター（部会副代表）
  - － 原田病院訪問リハビリテーション（部会副代表）
  - － デイセンターカルメン
  - － デイセンター尊氏
  - － 宝田デイサービス
  - － ロイヤルフラワーガーデン
  - － デイサービスセンター梅の里
  - － デイサービスセンターキムラ
  - － 岩城クリニック通所リハビリテーション
  - － 阿南名月苑
  - － 阿南市在宅医療・介護連携支援センター
- 議事録作成者：阿南市在宅医療・介護連携支援センター長

#### 【要約】

本会議では、阿南市における医療・介護連携の現状と課題について協議しました。今年度の部会活動の重点議題として「入退院支援」を設定し、情報共有の不足やカンファレンス参加の加算に関する課題が挙げられました。その解決策として、医療・介護多職種連携ツール「バイタルリンク」の普及推進が確認されました。また、各事業所の運営課題として、食事代の値上げ状況、通所介護の利用者減少、介護人材の不足などが共有され、スポットワークサービスの活用も提案されました。

#### 【議題 1：部会活動方針と今年度の重点議題設定】

- **部会の役割と趣旨**
  - － 事業所間の横のつながりを強化し、情報交換を通じて地域の医療・介護連携を推進する。
  - － 疑問点や課題を共有し、必要に応じて市役所職員とも連携を図る。
- **「4つの場面」資料の共有**
  - － 「4つの場面（看取り、救急対応、入退院支援、日常の療養支援）」に関する資料が共有され、毎年アップデートしていく方針が示された。
  - － 各部会で取り組むべき項目と現状把握の記載欄は、部会での議論を経て追記・修正することとした。

- **今年度の重点議題の決定**

- 昨年度は「看取り」に焦点を当てたが、今年は「緊急時対応」または「入退院支援」に注力することとし、議論の結果「**入退院支援**」を今年度の重点議題とすることが決定された。
- 緊急時対応についてはグループホーム部会と居宅介護支援事業所がメインで取り組むことが決定され、日常の療養支援は経費（通所介護）が中心となることが共有された。

|                                      |
|--------------------------------------|
| <b>【議題 2：入退院支援における情報共有と多職種連携の課題】</b> |
|--------------------------------------|

- **現状の課題認識**

- 入院時のカンファレンスへの参加機会が少ない、特に通所介護事業所はほとんど呼ばれない。
- 病院からの情報提供（リハビリ紹介状、看護サマリー等）は改善傾向にあるが、依然としてケアマネジャー経由の情報が多く、不十分な場合がある。
- 退院時の情報共有が不十分なことで、利用者の ADL（日常生活動作）や認知機能の変化に対応できないといった問題が生じている。

- **情報共有ツールの説明と導入推進**

- **バイタルリンク**：医師主導の医療介護多職種連携ツール。LINE グループのように、患者ごとのグループで医師、看護師、リハビリ専門職、ケアマネジャーなどが情報交換できる。セキュリティが高く、写真添付やリアルタイムな指示受けも可能。
  - 来年（年明け）から本格的に普及を推進し、2 年間で普及を目指す。
  - 当初は医療センターが管理するが、今後は医師会がセキュリティ管理を行う。
  - 参加する医療・介護事業者は無料で利用可能（県の補助金あり）。
- **MCS (Medical Care Station)**：医療従事者であれば医師以外も作成可能な連携ツール。バイタルリンクを導入しない医療機関・事業所で活用される可能性がある。
- **懸念事項**：バイタルリンクは疾患の重い患者に限定される可能性があり、軽度な患者の情報共有方法については別途検討が必要。病院スタッフの入力負担増も懸念される。

- **各事業所からの要望**

- **カンファレンスへの参加希望**：
  - 居宅介護支援事業所は、利用者の状態変化が大きい場合や退院後のサービス見直しのため、病院側からのカンファレンス案内と参加機会を強く希望。
  - 通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション事業所は、カンファレンス参加により加算がつくため、積極的に参加したい意向。

- 通所介護事業所は、現在のところカンファレンス参加への加算がないため、市を通じて県や国への加算制度創設の要望を検討。
- **決定事項**：現状、加算がなくても情報共有のためカンファレンス参加を希望し、参加できない場合は詳細な情報提供書の提供を要望する。この要望は10月の代表者会議で報告する。
- **情報提供のデータ化・統一化**：紙媒体ではなくデータでの情報提供や、様式の統一化が望まれる。

### 【議題3：事業所運営における課題と情報共有】

#### 3-1. 食事代・おやつ代に関する情報共有と課題

- **現状把握**
  - 阿南市内の通所介護事業所の食事代について調査が行われ、多くの事業所で値上げが行われていることが判明した（例：700円程度が多い）。
  - 施設形態（例：地域密着型、通常規模）や提供方法（直営調理、委託）によって価格設定が異なる。
  - 一部事業所では、無料だった体験時の食事代を有料化している。
- **懸案事項**
  - 物価高騰を理由とした値上げは進むが、利用者からの値下げ要望への対応が課題。
  - 地域密着型通所介護の加算について、他のサービスと同等に加算が得られるよう要望を検討。
- **今後の対応**
  - 食事代の価格状況について、再度全事業所を対象に調査を行い、ケアマネジャーへの情報提供に活用する。
  - 地域密着型通所介護への加算要望について、市を通じて国に働きかけを行う。

#### 3-2. 通所介護・リハビリテーションの利用者動向と経営課題

- **利用者数の減少とニーズの変化**
  - 通所介護事業所では全体的に利用者が減少傾向にある。
  - 高齢化に伴い、利用回数が増える高齢者が入所や逝去に至ることで、新たな利用者が追いつかない状況。
  - 利用者のニーズが「入浴」から「リハビリ」へと移行しており、PT（理学療法士）などのリハビリ専門職を配置している事業所は利用者の反応が良い。
- **介護予防・総合事業の課題**
  - 総合事業の利用者が増加傾向にあるが、単価が低く、事業所の経営を圧迫している。
  - 総合事業の利用者は元気な層が多く、介護保険の認定に繋がりにくいため、長期的な利用により介護給付の枠を圧迫する懸念がある。

- **懸案事項**：介護予防・総合事業の複雑な報酬体系（例：8回と9回で単価が異なる、回数制限の管理負担）について、事業者側から改善の要望が出されている。過去に市へ要望書を提出済みであり、次期介護保険計画での改定に期待。
- **担当者会議の実施**
  - 担当者会議の開催頻度が減っている現状がある。
  - **対応予定**：利用者の状態変化やサービスの継続・見直しを行うため、定期的な担当者会議の開催を推進していく。

#### 【議題 4：介護人材の確保と働き方改革】

- **介護職員、看護師、リハビリ専門職の不足**
  - 多くの事業所で人材確保が困難な状況が続いている。ハローワークからの応募も少ない。
  - 看護師は特に不足が深刻で、時給を上げてでも応募が集まりにくい。
  - リハビリ専門職（PT/OT）も不足しており、採用が難しい。
- **外国人材の活用**
  - 技能実習制度を活用した外国人介護人材の受け入れが進んでいるが、通所介護での導入はまだ少ない。
  - 日本語能力の問題や管理負担が課題。
- **人材確保の新たな取り組み**
  - **スポットワークサービス「快適」**の紹介：医療・介護の資格を持った専門職に特化した求人・マッチングサイト。
    - 午前のみ、入浴介助のみといったスポットでの働き方を希望する人材と事業所を繋ぐ。
    - 阿南市でも100名以上の登録者がいるとのこと。
    - **対応予定**：事業所は「快適」のようなスポットワークサービスを活用し、人材不足の解消を図ることを検討する。

#### 【議題 5：介護保険制度とケアプランデータ連携システムの導入状況】

- **第10期介護保険計画への要望**
  - 介護予防・総合事業の単価が低いことについて、阿南市へ要望されたことが共有された。
- **ケアプランデータ連携システムの導入状況**
  - 導入済みの事業所はまだ少ない。
  - **懸案事項**：異なるソフト間での互換性の問題があり、結局手入力が必要になるケースがあるため、活用しきれていない現状がある。システム統一の必要性が指摘された。
  - **対応予定**：現状、導入は必須ではないものの、将来的な働き方改革に繋がるため、導入済みの事業所から情報収集し、導入を推進していく。

### 【今後のスケジュール】

- **次回部会の開催**：2027 年 2 月頃を予定。
- **議題の引き継ぎ**：次年度の計画や課題について議論。
- **最終取りまとめ**：今回の部会で出た意見や要望は、代表者会で最終的に取りまとめられ、市へ提出される。
- **介護保険制度改定**：2 月頃には第 10 期介護保険計画に関する詳細な情報が共有される見込み。

